



2024年3月期 決算説明会

2024年5月13日  
スズキ株式会社

## サマリー | 2024年3月期決算・次期予想

## 2024年3月期決算

## ■ 当期累計

- ・売上高、各利益項目 …過去最高
- ・1-3月期についても、売上高・各利益とも過去最高

・為替円安  
・原材料価格の落ち着き

+

・半導体不足が解消⇒販売台数増加、ミックス改善  
・販価を適正な水準に見直し

## 2025年3月期予想

## ■ 次期予想

- ・販売台数増加により、売上高・各利益とも過去最高を見込む

・台数増加  
・売上構成変化等の改善

カバ

将来への種まき（成長投資）を加速  
（研究開発費・固定費等の増）

- ・技術分野をはじめとした各分野の戦略をとりまとめ、2025年3月期末までに新中期経営計画を発表する

- ・ 継続的かつ安定的な配当を方針とし、当期は22円の増配を実施
- ・ 新中期経営計画では株主還元方針を含め資本政策を開示予定

## ■ 2024年3月期

- ・ 年間配当金 1株当たり**122円**（前期から22円増配、配当性向22.0%）
- ・ 期末配当金 1株当たり **67円**（前期から17円増配）
- ・ 上期に200億円（還元性向7.5%）の自己株式取得を実施
- ・ 株式分割を実施（2024年3月末を基準日として4分割）

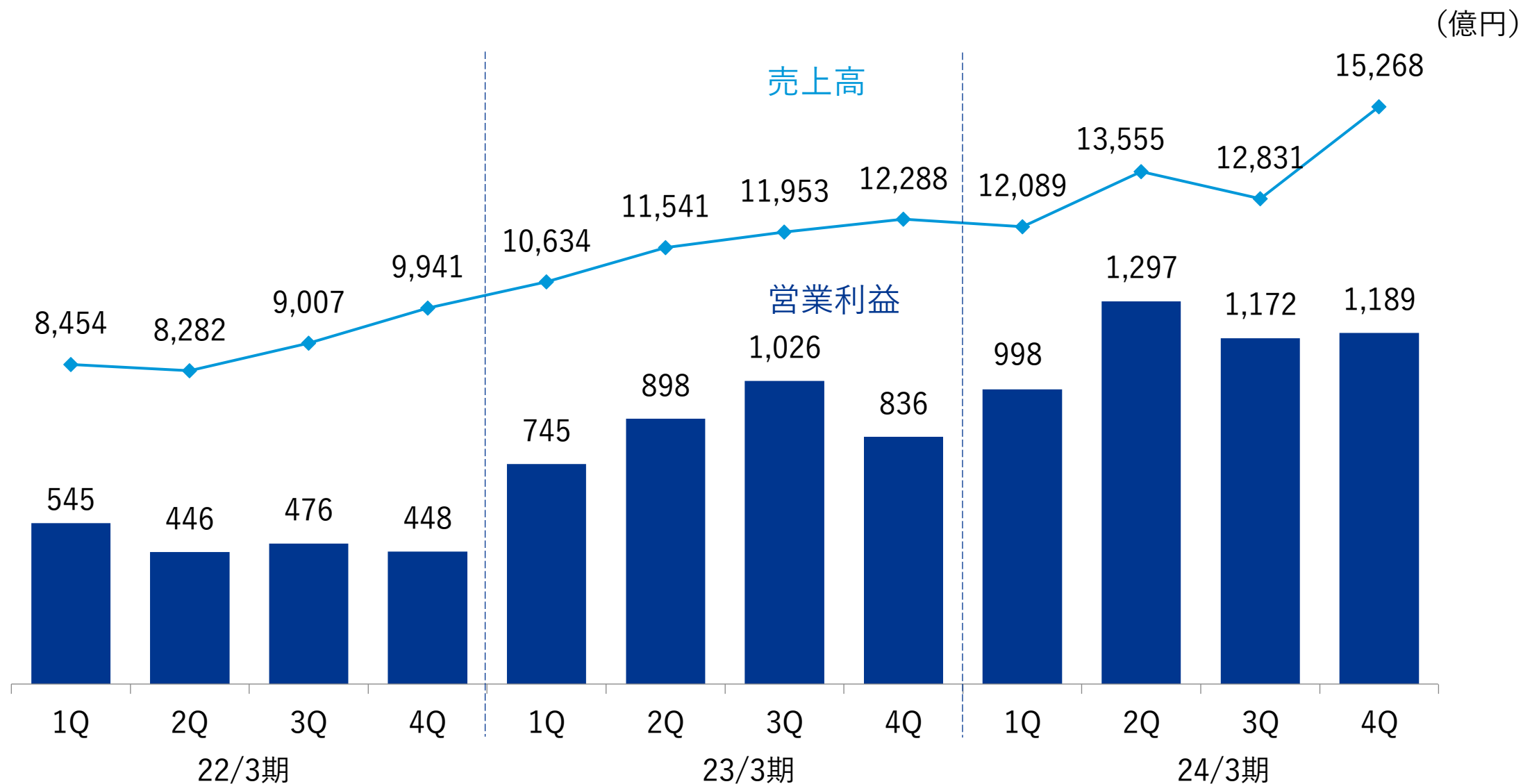
## ■ 2025年3月期予想

- ・ 年間配当金は、1株当たり**36円**（分割前ベースでは144円、前期から22円増配）
- ・ 配当性向は、**22.4%**
- ・ 研究開発投資、人的投資等のさらなる成長投資とともに企業価値向上に努め、累進配当方針を維持していく

サマリー	2
株主還元	3
2024年3月期決算	5～15
総括	5
四半期推移	6
営業利益増減要因	7
事業別セグメント	8
四輪・二輪台数実績	9～15
通期業績予想	16～19
総括	16
営業利益増減要因	17
四輪・二輪台数情報	18～19
補足資料	20～35

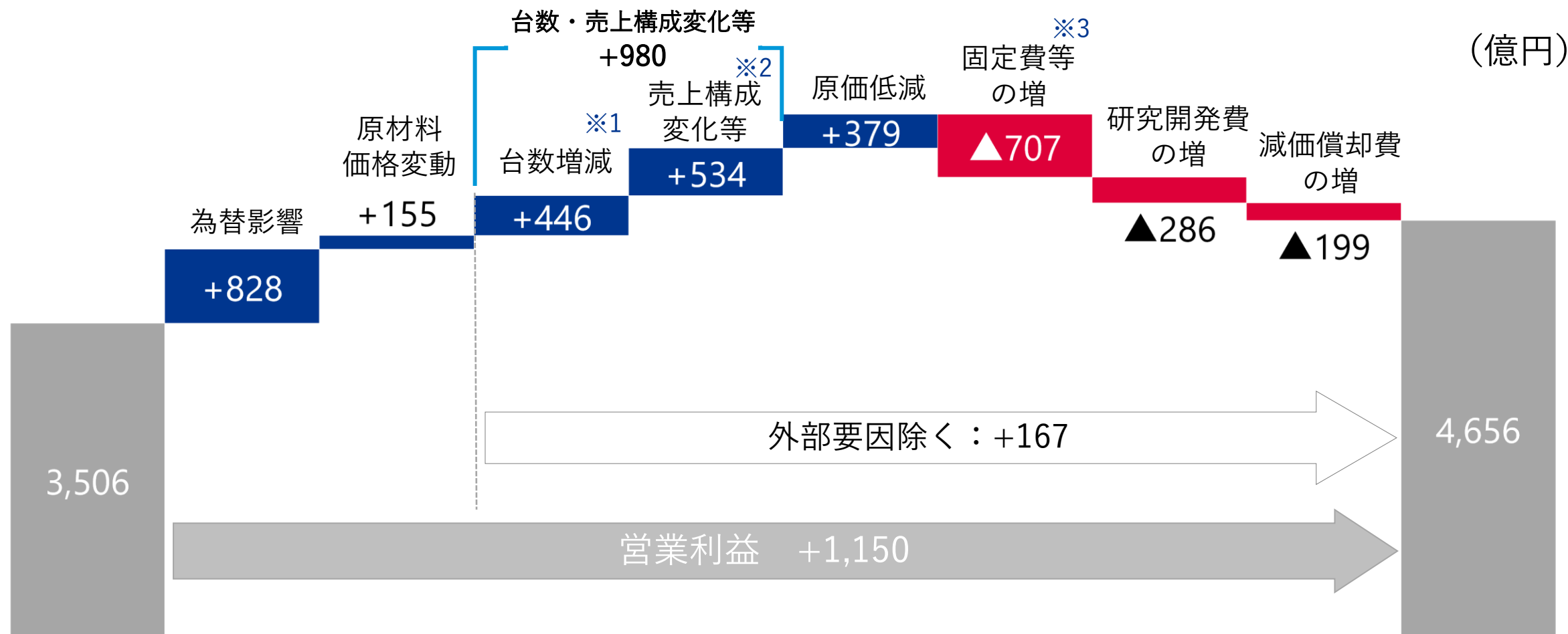
(億円)		当期 ( '23/4-'24/3)	前期 ( '22/4-'23/3)	増 減		補足
					増減率	
連結 業績	売上高	53,743	46,416	+ 7,326	+ 15.8%	3期連続増収、過去最高
	営業利益 (利益率)	4,656 (8.7%)	3,506 (7.6%)	+ 1,150	+ 32.8%	2期連続増益、過去最高
	経常利益 (利益率)	4,885 (9.1%)	3,828 (8.2%)	+ 1,057	+ 27.6%	4期連続増益、過去最高
	当期純利益* (利益率)	2,677 (5.0%)	2,211 (4.8%)	+ 466	+ 21.1%	4期連続増益、過去最高
世界 販売	四輪車	3,168千台	3,000千台	+ 168千台	+ 5.6%	インド、欧州、日本等で増加
	二輪車	1,912千台	1,867千台	+ 45千台	+ 2.4%	インド、欧州等で増加
配当	一株当たり 年間配当金	122円	100円	+ 22円		4期連続増配*、過去最高 ※記念配当を含むと5期連続増配
ROE	ROE	11.7%	11.2%		+ 0.5%	

\* 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益





# 2024年3月期決算 | 営業利益増減要因 (通期)



前期  
'22/4-'23/3

※1 台数増減影響 主な内訳  
 ・マルチスズキ + 236億円  
 ・当社単独 + 231億円

※2 売上構成変化等 主な内訳  
 ・当社単独 + 515億円  
 ・マルチスズキ + 336億円

※3 固定費等の増 主な内訳  
 ・労務費 ▲ 279億円  
 ・営業政策費 ▲ 148億円  
 ・品質関連費用 ▲ 6億円

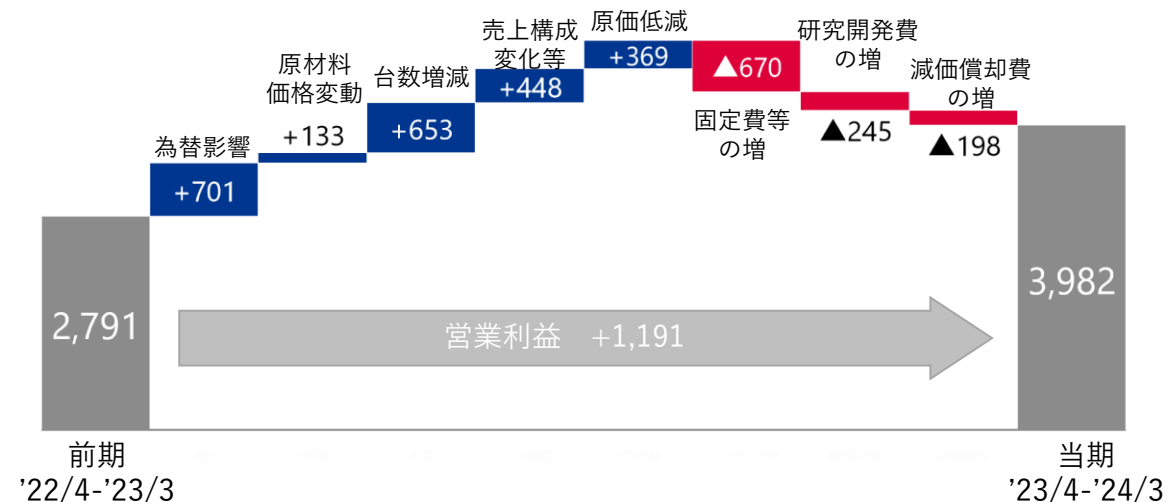
当期  
'23/4-'24/3

# 2024年3月期決算 | 事業別業績、営業利益増減要因

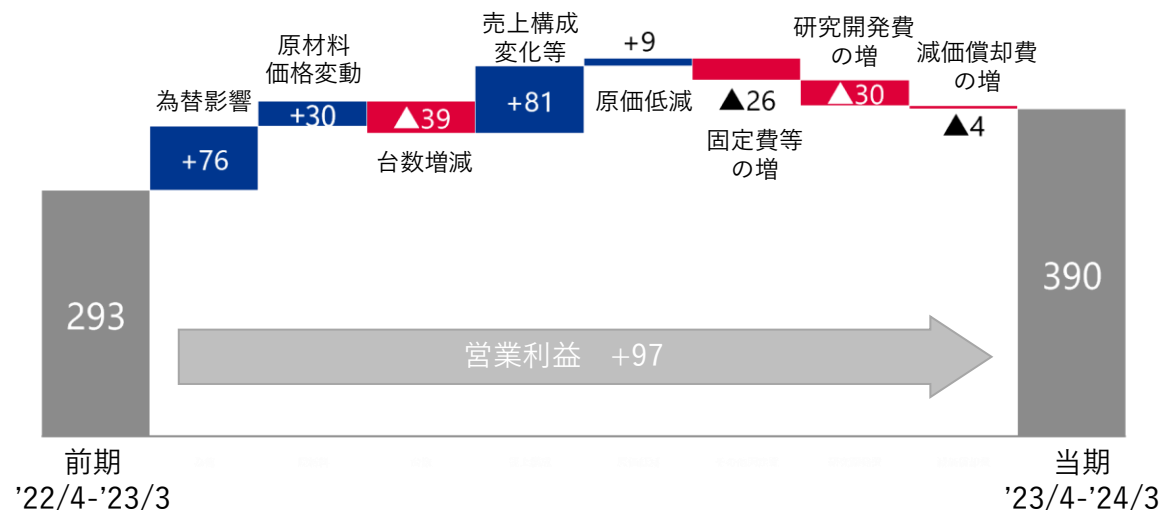
単位：億円

	'23/4-'24/3					'24/1-3				
	売上高		営業利益			売上高		営業利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	前年比	利益率	
四輪	48,838	+17%	3,982	+43%	8.2%	13,967	+26%	1,006	+48%	7.2%
二輪	3,669	+10%	390	+33%	10.6%	993	+24%	122	+92%	12.3%
マリン	1,123	▲17%	252	▲36%	22.5%	280	▲15%	54	▲38%	19.1%
その他	112	▲5%	31	+17%	28.0%	28	▲1%	7	+39%	25.9%
連結計	53,743	+16%	4,656	+33%	8.7%	15,268	+24%	1,189	+42%	7.8%

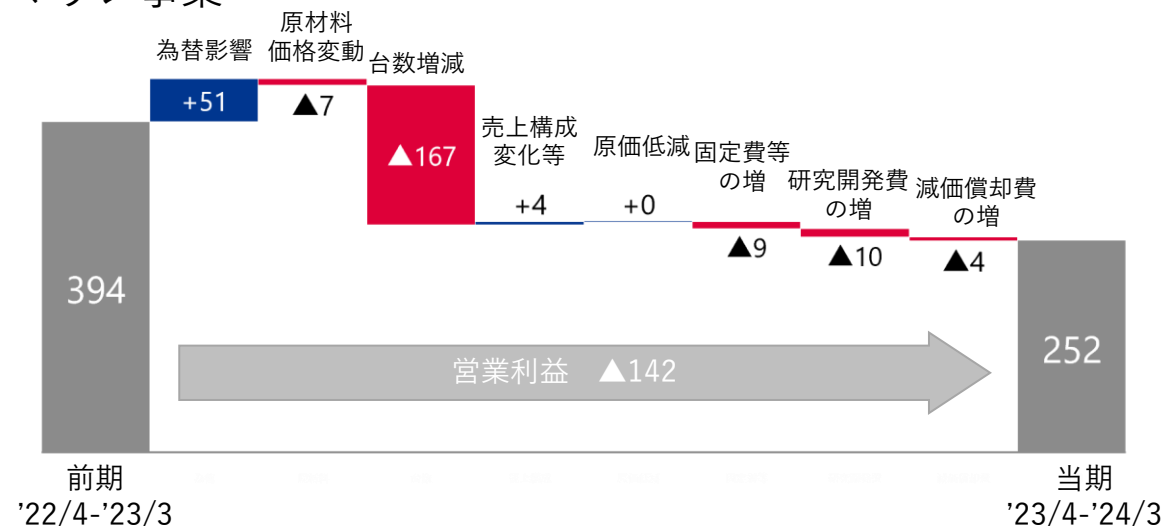
## 四輪事業



## 二輪事業



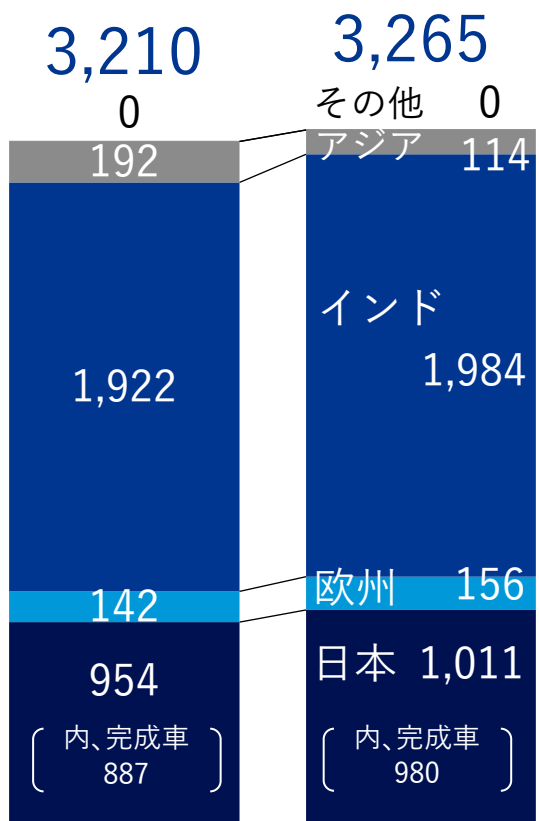
## マリン事業





## 生産実績

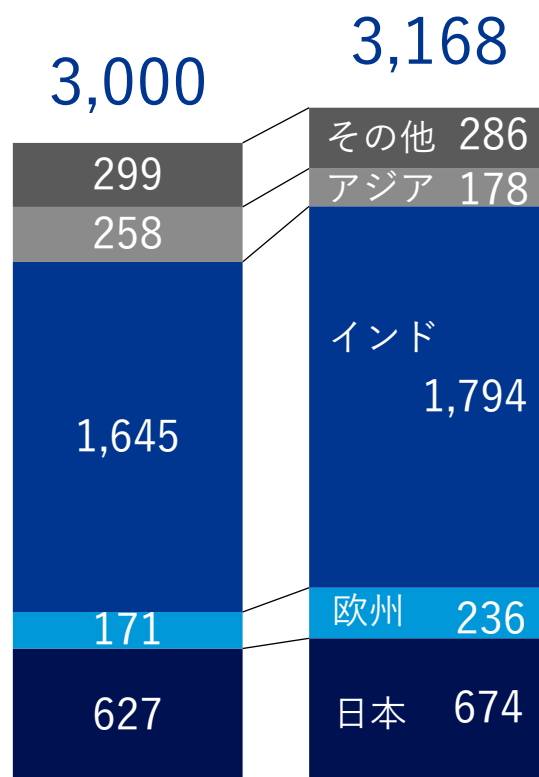
+55千台 (+1.7%)  
(千台)



前期 '22/4-'23/3      当期 '23/4-'24/3

## 販売実績

+168千台 (+5.6%)  
(千台)



前期 '22/4-'23/3      当期 '23/4-'24/3

## ● 当期の世界販売

(千台)	台数	前年同期比	
世界販売	3,168	+168	+5.6%
日本	674	+47	+7.5%
欧州	236	+65	+37.9%
インド	1,794	+149	+9.0%
アジア (除インド)	178	▲81	▲31.2%
インドネシア	78	▲12	▲13.3%
パキスタン	43	▲56	▲56.5%
タイ	11	▲7	▲38.5%
その他	286	▲13	▲4.3%
アフリカ	98	▲17	▲14.8%
中南米	110	▲12	▲9.8%
中近東	52	+22	+71.0%
大洋州	26	▲6	▲17.4%

# 四輪販売台数 | HEV・CNG搭載車の販売状況

## ● 四輪ハイブリッドシステム・CNG搭載車の販売状況

- ・ 当期のスズキ販売における、HEVとCNG車を合わせた比率は43.0%
- ・ インドではHEV台数が減少した一方で、CNG車が増加  
将来的なバイオガスの活用も含め、カーボンニュートラル達成に向け  
全方位戦略が浸透中

四輪ハイブリッドシステム・CNG搭載車販売台数推移 (千台)

	当期 ( '23/4-'24/3 )			前期 ( '22/4-'23/3 )			増減		
	搭載台数	構成比		搭載台数	構成比		搭載台数	構成比	
日本	674	358	53.2%	627	324	51.7%	+47	+34	+1.5%
インド	1,794	749	41.8%	1,645	625	38.0%	+149	+124	+3.8%
HEV		266	14.8%		296	18.0%		▲30	▲3.2%
CNG		483	27.0%		329	20.0%		+154	+7.0%
欧州	236	214	90.8%	171	156	91.2%	+65	+58	▲0.4%
その他	464	41	8.8%	557	24	4.3%	▲93	+17	+4.5%
合計	3,168	1,362	43.0%	3,000	1,129	37.6%	+168	+233	+5.4%

※日本、欧州、その他地域はハイブリッド車のみ。その他地域のハイブリッド車販売台数は日本、インドからの輸出台数。  
ハイブリッド車はマイルドハイブリッド、S-エネチャージ、SHVSを含む。

Strong hybrid system



Mild hybrid system

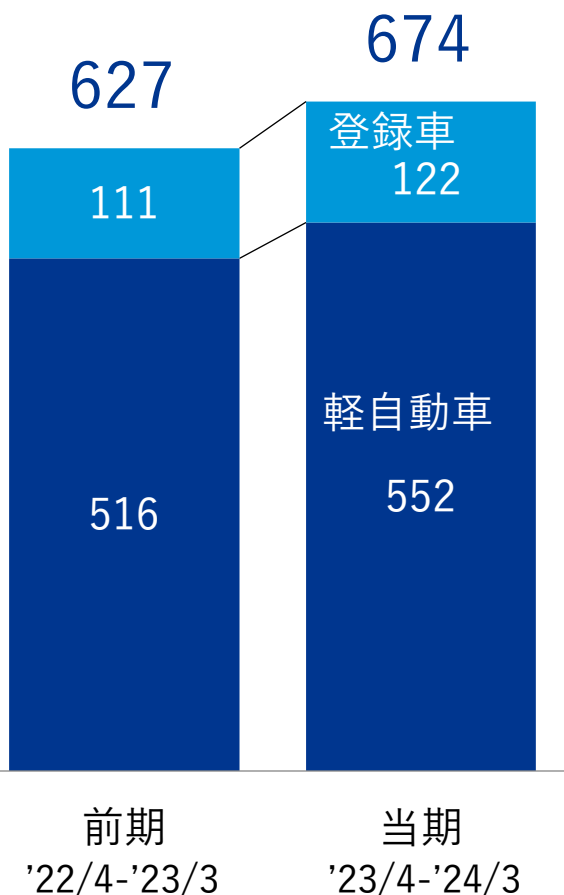


ワゴンRのトランクに搭載のCNGタンク



## 販売実績

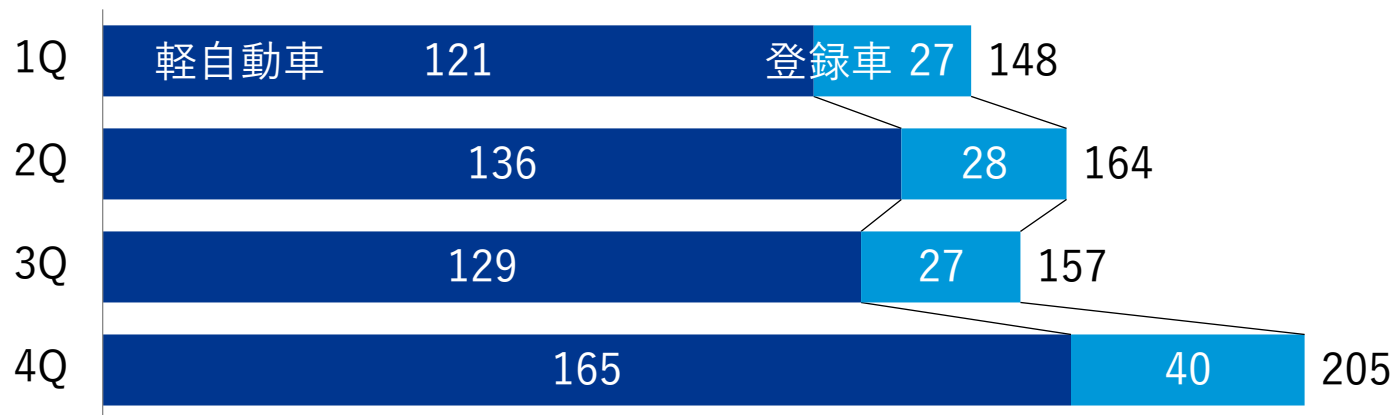
+47千台 (+7.5%)  
(千台)



## ● 軽自動車・登録車ともに主力モデルの新型車を投入

- ・ 11月に新型スペーシア、12月に新型スイフトの販売を開始
- ・ 両モデルとも受注は好調。特にスペーシアはスペーシアカスタム、スイフトは上級グレードの販売が好調で、ミックス改善に貢献

2024年3月期の国内販売台数推移(千台)



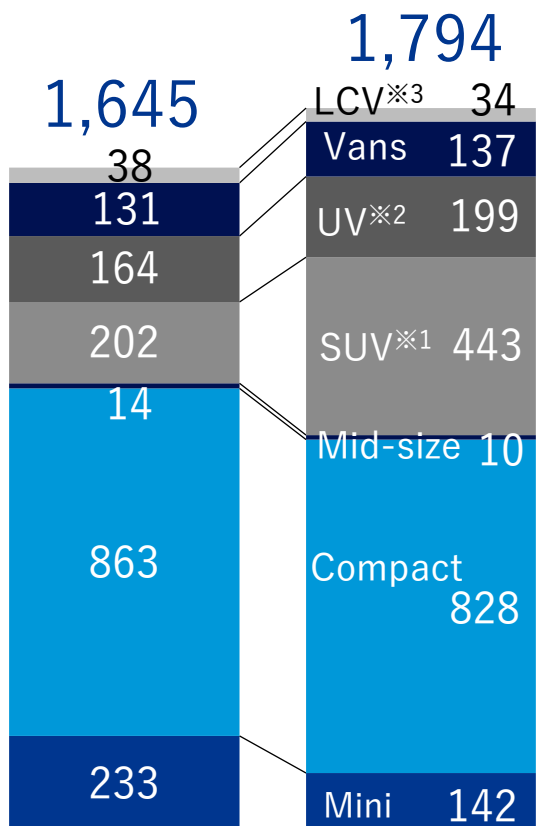
## ● 価格改定

- ・ 当期より、仕様変更に合わせて価格改定を実施
- ・ 仕様・装備の充実によるコストアップ分に加え、原材料価格高騰分を反映

# 四輪販売台数 | インド四輪販売台数

## 販売実績

+149千台 (+9.0%)  
(千台)



前期 '22/4-'23/3  
当期 '23/4-'24/3

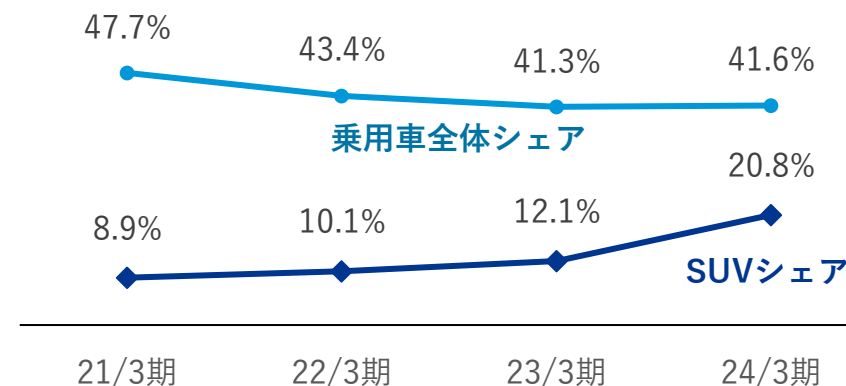
## ● 当期のインド販売

- ・ 2023年度の全体市場およびスズキは末端・卸販売ともに過去最高

## ● SUVの販売状況

- ・ 2023年度はSUVラインナップを強化しSUVシェアを急速に拡大
- ・ 今後もSUVモデルの拡販をすすめ、乗用車全体シェアの挽回を図る

インドでのスズキのシェアの推移



## ● インド四輪車累計生産台数3,000万台を達成

- ・ 2024年3月までにインドにおける四輪車の累計生産3,000万台を達成
- ・ 2024年4月にはマネサール工場で年間生産10万台の新ラインが稼働
- ・ 2030年度までに年間約400万台超の生産能力を確保する予定

注. 左側グラフは商用車(LCV)を含む卸販売実績、OEMは除く

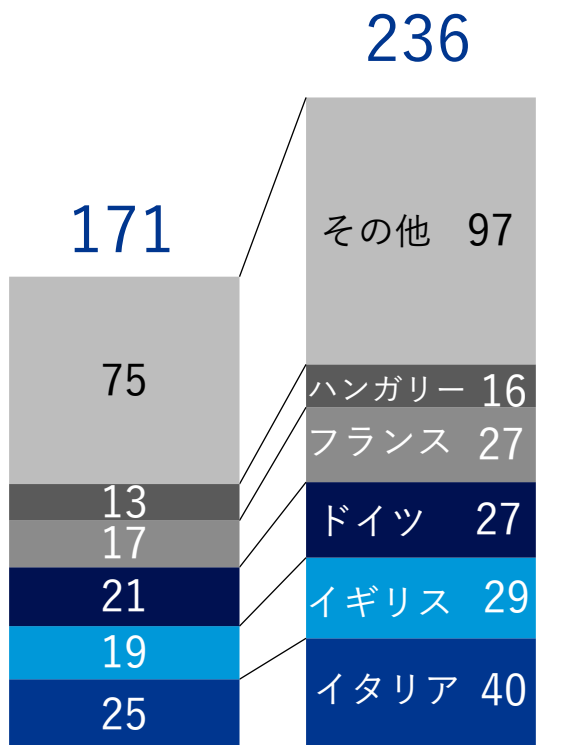
※1 SUVは、Brezza, Fronx, Grand Vitara, Jimny の4モデル (前年同期はBrezza, Grand Vitara, S-Crossの3モデル)

※2 UV=Utility Vehicles (Ertiga等) ※3 LCV=Light Commercial Vehicles

# 四輪販売台数 | 欧州 / アジア (インド除く)

## 欧州

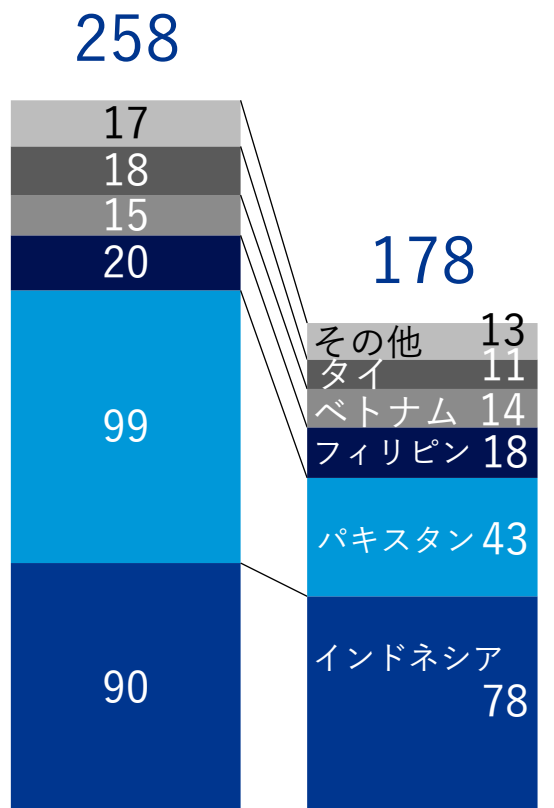
+65千台 (+37.9%)  
(千台)



前期 '22/4-'23/3      当期 '23/4-'24/3

## アジア (インド除く)

▲81千台 (▲31.2%)  
(千台)

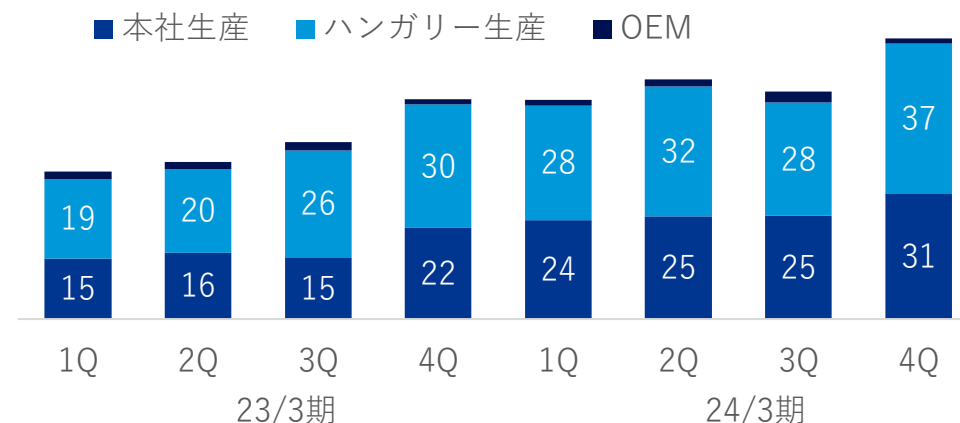


前期 '22/4-'23/3      当期 '23/4-'24/3

## ● 欧州トピックス

- ・ 日本生産車の供給が回復

生産拠点別販売台数 (千台)



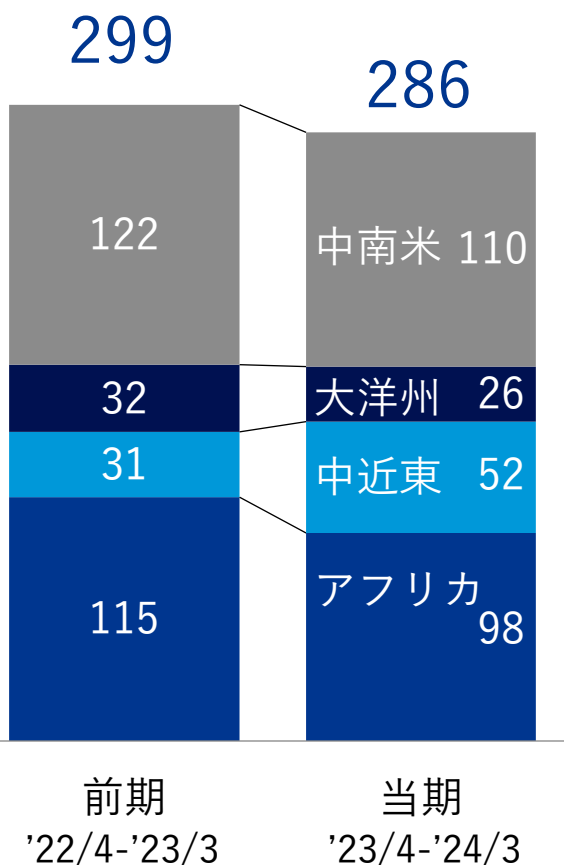
- ・ 新型スイフトを各国へ順次投入



# 四輪販売台数 | その他地域

## 販売実績

▲13千台 (▲4.3%)  
(千台)



## ● トピックス

- ・ アフリカ、大洋州、中南米で販売台数は減少
- ・ 一方で、中近東ではサウジアラビア等が好調で販売が増加

## ● 当期の販売

(千台)	台数	前年同期比	
アフリカ	98	▲17	▲14.8%
南アフリカ	52	+2	+4.2%
エジプト	5	▲7	▲58.5%
エチオピア	3	▲11	▲77.1%
中近東	52	+22	+71.0%
サウジアラビア	30	+18	+141.4%
大洋州	26	▲6	▲17.4%
中南米	110	▲12	▲9.8%
メキシコ	38	▲2	▲5.9%
チリ	18	▲1	▲7.7%

全体市場は減少したものの、スズキは増加

外貨不足の影響を受け前年から大きく減少

販売網の強化を背景に台数が増加



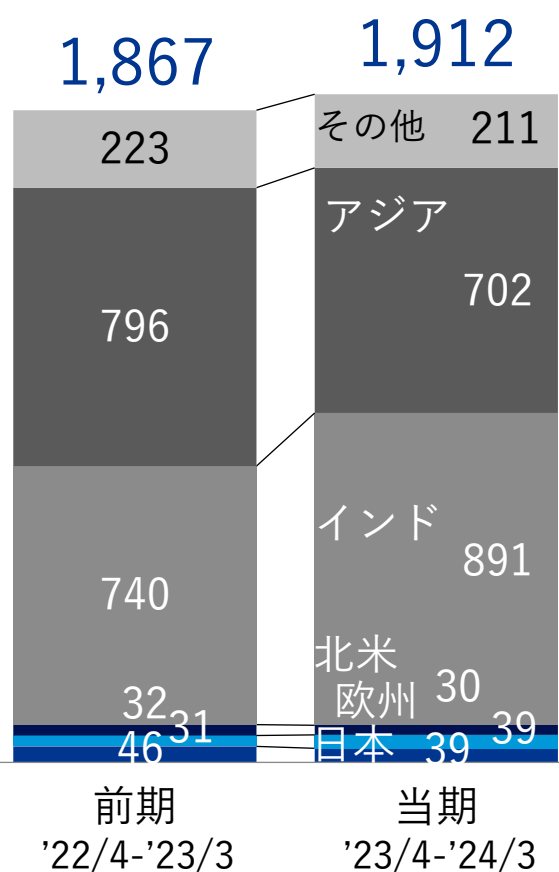
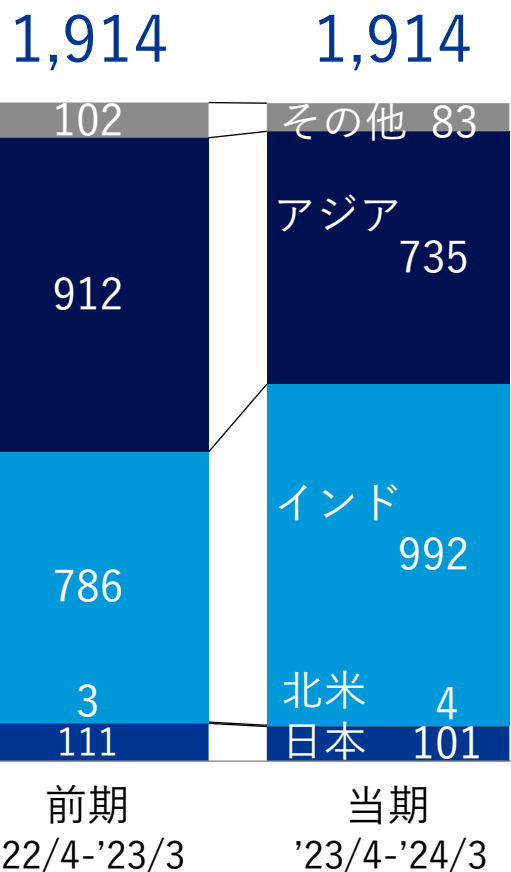


## 生産実績

▲0千台 (▲0.0%)  
(千台)

## 販売実績

+45千台 (+2.4%)  
(千台)



## ● 当期の世界販売

(千台)	台数	前年同期比	
世界販売	1,912	+45	+2.4%
日本	39	▲7	▲15.0%
欧州	39	+8	+27.4%
北米	30	▲2	▲5.3%
インド	891	+151	+20.4%
アジア (除インド)	702	▲94	▲11.9%
中国	394	▲36	▲8.4%
フィリピン	164	▲31	▲16.0%
その他	144	▲27	▲15.9%
その他	211	▲12	▲5.3%
中南米	191	▲8	▲3.8%
その他	20	▲4	▲17.7%



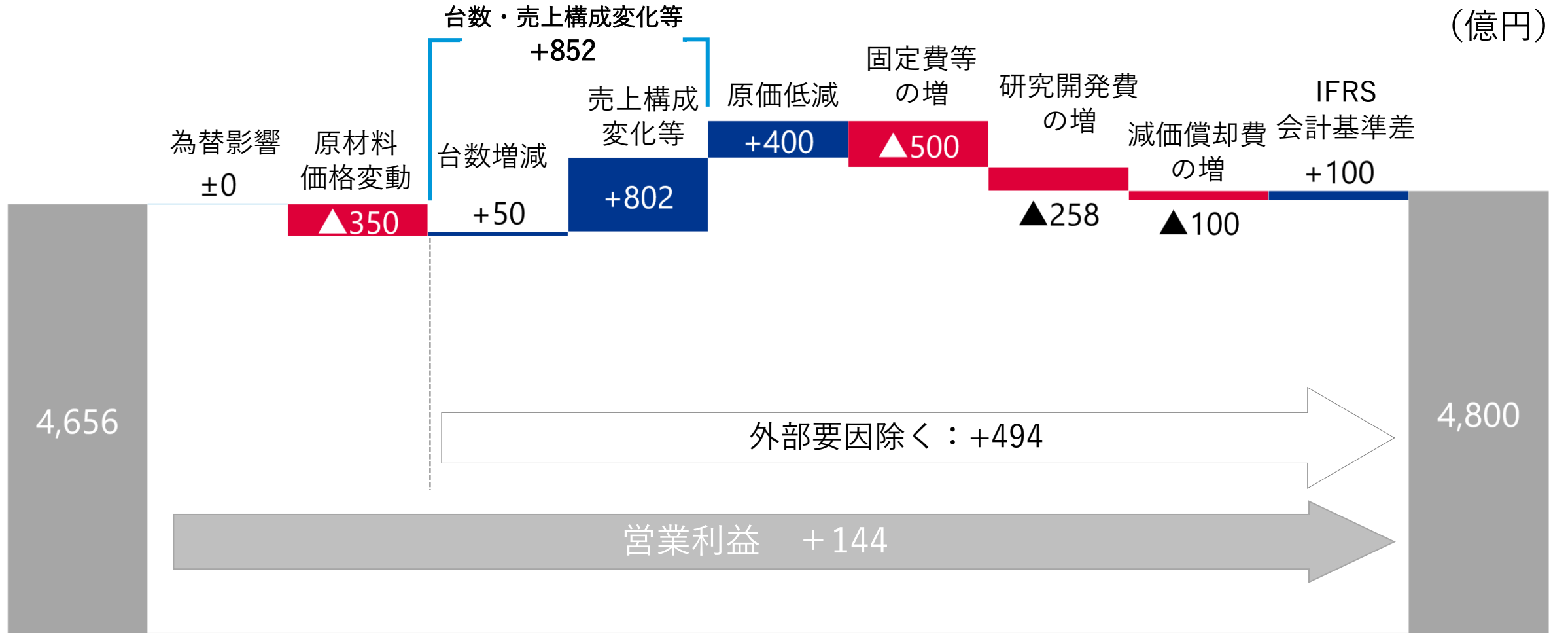
(億円)		当期実績 ( '23/4-'24/3 ) 日本基準	次期予想 ( '24/4-'25/3 ) IFRS <sup>※2</sup>	参考値			
				次期予想 ( '24/4-'25/3 ) 日本基準	増 減		補足
					増減率		
連結 業績	売上高	53,743	56,000	56,000	+ 2,257	+ 4.2%	過去最高 4期連続増収
	営業利益 (利益率)	4,656 (8.7%)	4,800 (8.6%)	4,700 (8.4%)	+ 44	+ 1.0%	過去最高 3期連続増益
	経常利益 (利益率)	4,885 (9.1%)	—	—	—	—	—
	当期純利益 <sup>※1</sup> (利益率)	2,677 (5.0%)	3,100 (5.5%)	—	—	—	—
世界 販売	四輪車	3,168千台	3,254千台	3,254千台	+ 86千台	+ 2.7%	
	二輪車	1,912千台	1,892千台	1,892千台	▲20千台	▲1.1%	
配当	一株当たり 年間配当金	122円	36円	(分割前ベース では144円)	(+ 22円)	—	過去最高

※1 当期実績について、当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

※2 次期予想について、IFRSにおける「売上収益」を「売上高」欄に記載。また、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「当期純利益」欄に記載。

# 通期業績予想 | 営業利益増減要因・対 24/3期実績

(億円)



24/3期  
'23/4-'24/3  
日本基準

25/3期  
'24/4-'25/3  
IFRS

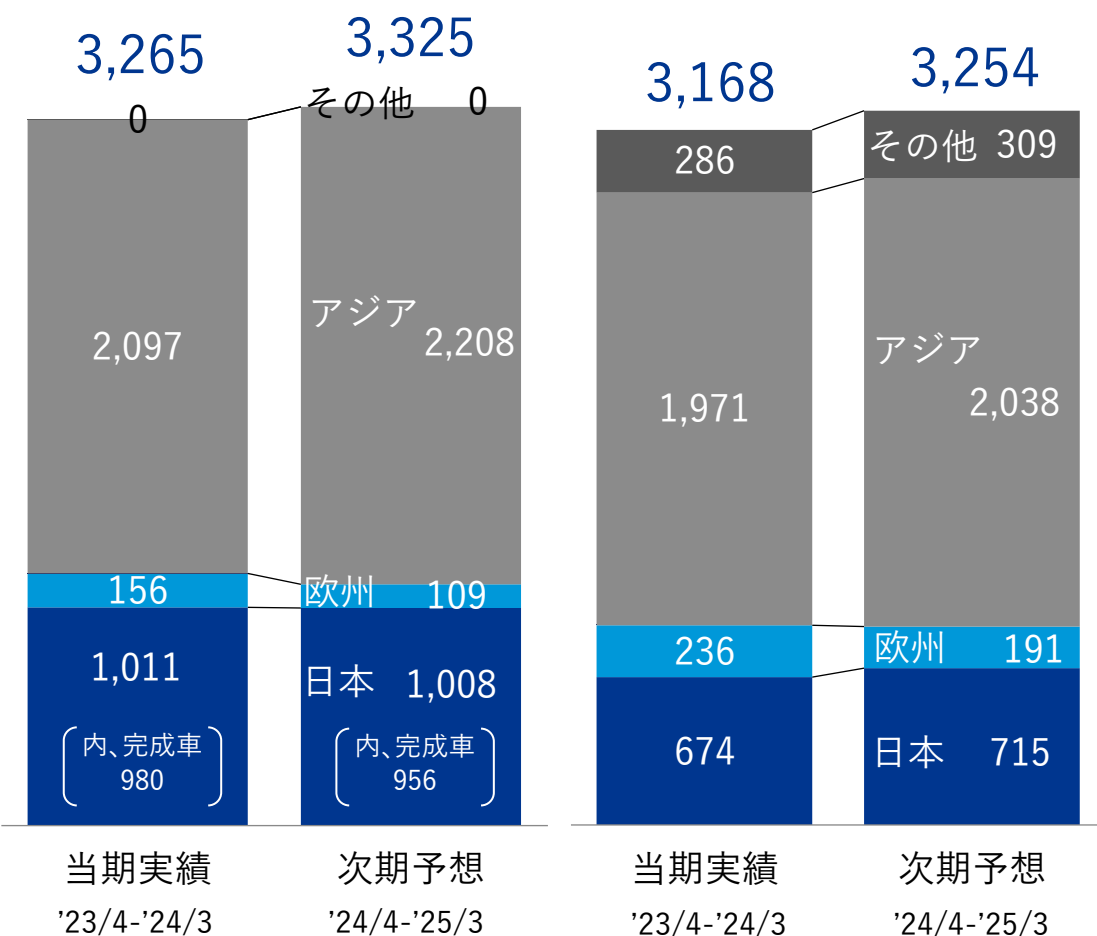
# 通期業績予想 | 四輪生産台数・販売台数

## 生産台数

+59千台 (+1.8%)  
(千台)

## 販売台数

+86千台 (+2.7%)  
(千台)



## ●生産台数

(千台)	次期予想	当期実績	増減	増減率
世界生産	3,325	3,265	+59	+1.8%
日本	1,008	1,011	▲4	▲0.4%
欧州	109	156	▲48	▲30.4%
アジア	2,208	2,097	+111	+5.3%
その他	0	0	▲0	▲23.7%

## ●販売台数

世界販売	3,254	3,168	+86	+2.7%
日本	715	674	+41	+6.0%
欧州	191	236	▲45	▲19.1%
アジア	2,038	1,971	+67	+3.4%
その他	309	286	+23	+8.2%

インドは市場成長率（前年比約+2.0%）を上回る見通し

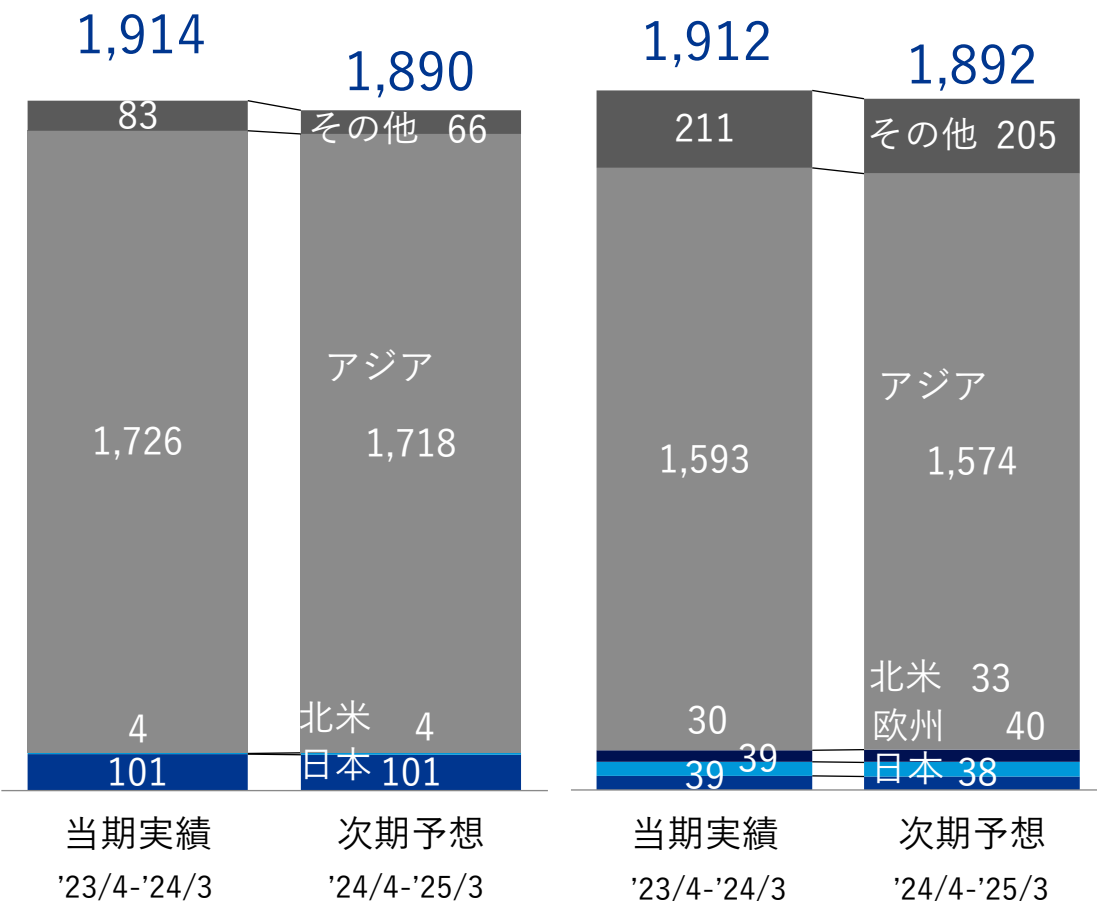
# 通期業績予想 | 二輪生産台数・販売台数

## 生産台数

▲24千台 (▲1.2%)  
(千台)

## 販売台数

▲20千台 (▲1.1%)  
(千台)



## ●生産台数

(千台)	次期予想	当期実績	増減	増減率
世界生産	1,890	1,914	▲24	▲1.2%
日本	101	101	+0	+0.2%
北米	4	4	+1	+15.5%
アジア	1,718	1,726	▲8	▲0.5%
その他	66	83	▲16	▲19.8%

## ●販売台数

世界販売	1,892	1,912	▲20	▲1.1%
日本	38	39	▲0	▲1.2%
欧州	40	39	+1	+2.4%
北米	33	30	+3	+10.6%
アジア	1,574	1,593	▲18	▲1.2%
その他	205	211	▲6	▲2.6%

# 補足資料

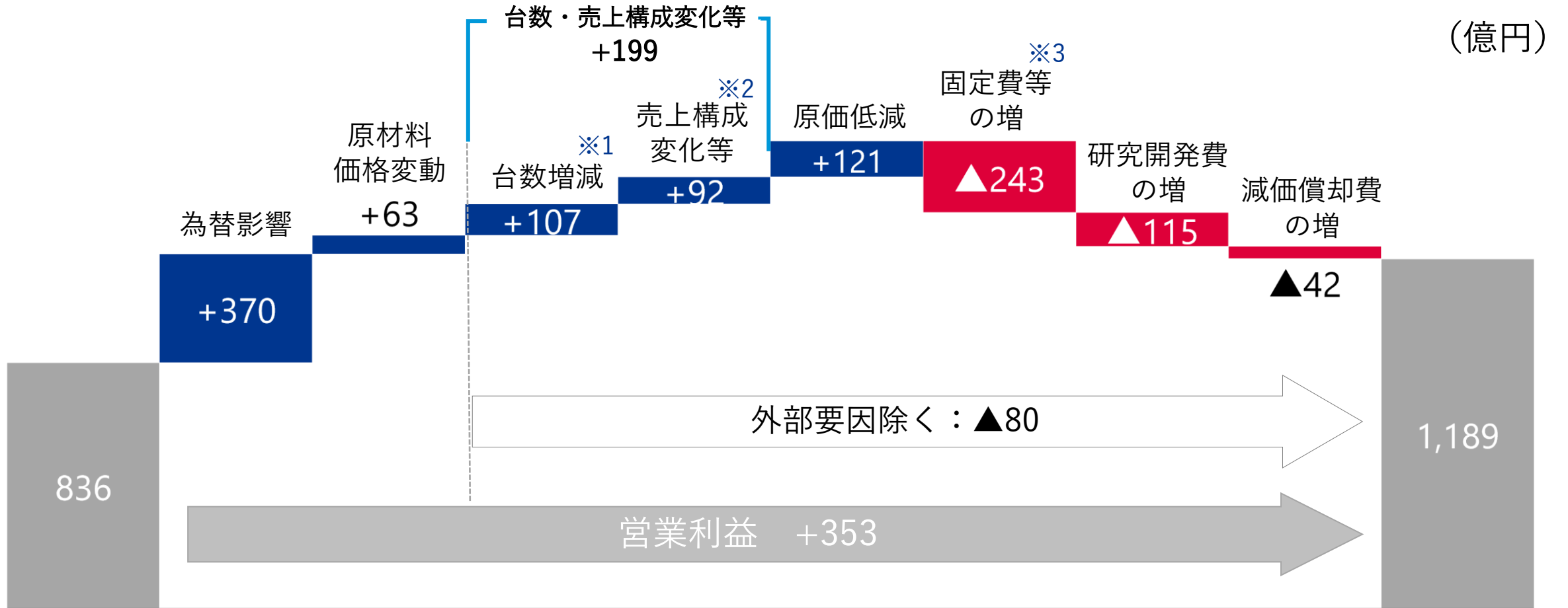
# 2024年3月期決算 | 売上高の状況



(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合計			増減内訳	
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	為替影響	台数増減
国内計	12,784	11,744	+1,041	198	223	▲26	34	35	▲2	112	118	▲5	13,128	12,120	+1,008		+724
自 社	11,744	10,782	+963	198	223	▲26	34	35	▲2	112	118	▲5	12,088	11,158	+930		
O E M	1,040	962	+78										1,040	962	+78		
海外計	36,054	29,878	+6,176	3,472	3,108	+363	1,089	1,310	▲221				40,615	34,296	+6,318	+1,977	+1,997
欧 州	6,345	4,149	+2,196	469	392	+77	189	251	▲62				7,003	4,792	+2,211	+713	+1,669
北 米	5	6	▲1	491	480	+11	560	750	▲190				1,056	1,237	▲180	+64	▲51
アジア	23,967	20,509	+3,458	1,855	1,660	+195	138	105	+34				25,960	22,274	+3,686	+788	+748
インド	21,130	16,987	+4,144	1,213	887	+326	9	8	+0				22,352	17,882	+4,470	+759	+1,690
〃以外	2,837	3,522	▲686	642	773	▲131	130	96	+33				3,608	4,392	▲784	+28	▲941
その他	5,736	5,213	+523	657	576	+81	201	204	▲3				6,594	5,993	+601	+413	▲369
総合計	48,838	41,622	+7,216	3,669	3,332	+338	1,123	1,346	▲223	112	118	▲5	53,743	46,416	+7,326	+1,977	+2,721
内、為替換算影響			+1,711			+204			+61						+1,977		

注. 当期…2023年4月～2024年3月期、前期…2022年4月～2023年3月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

# 2024年3月期決算 | 営業利益増減要因：3ヵ月（1-3月期）



前年同期  
'23/1-3

- ※1 台数増減影響 主な内訳
- ・ マルチスズキ + 100億円
  - ・ 当社単独 ▲ 30億円

- ※2 売上構成変化等 主な内訳
- ・ 当社単独 + 163億円
  - ・ マルチスズキ + 39億円
  - ・ 欧州 ▲ 67億円

- ※3 固定費等の増 主な内訳
- ・ 労務費 ▲ 83億円
  - ・ 営業政策費 ▲ 62億円
  - ・ 品質関連費用 ▲ 45億円

当第4四半期  
'24/1-3

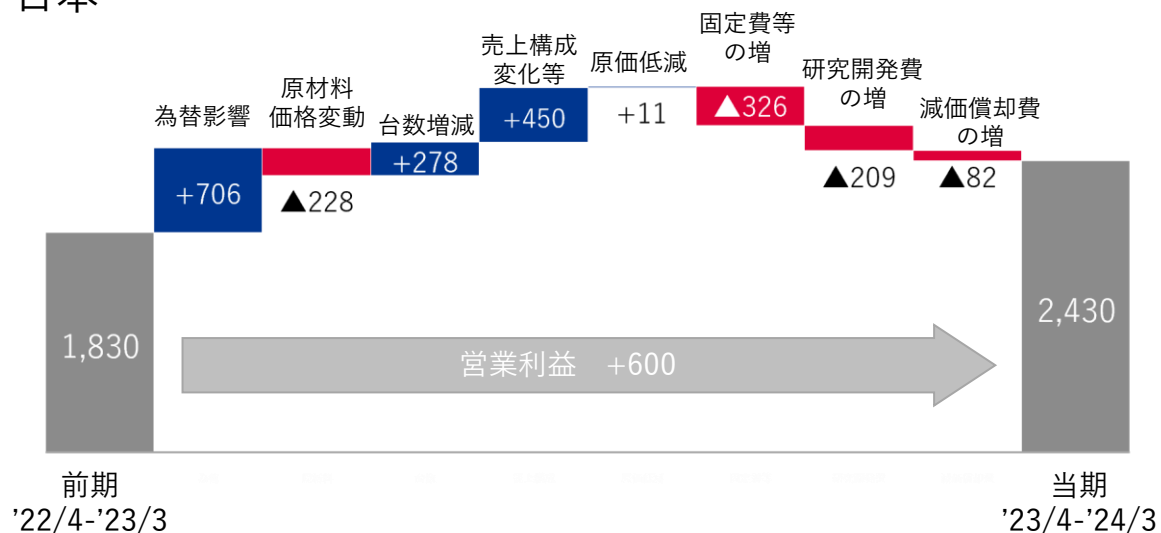


# 2024年3月期決算 | 所在地別業績、営業利益増減要因

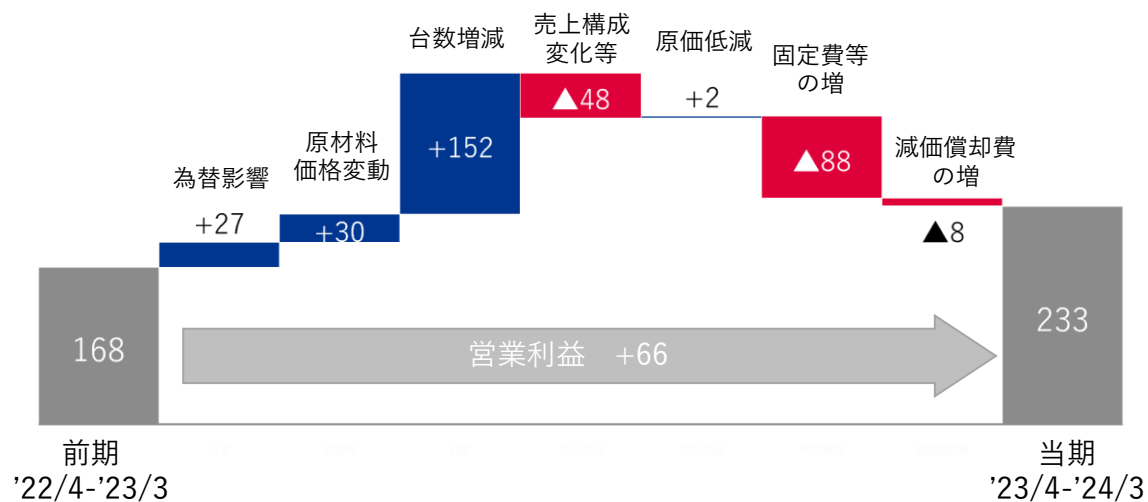
単位：億円

	'23/4-'24/3					'24/1-3				
	売上高		営業利益			売上高		営業利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比		前年比	利益率
日本	28,389	+15%	2,430	+33%	8.6%	7,922	+17%	480	+89%	6.1%
欧州	9,187	+45%	233	+39%	2.5%	2,466	+25%	68	▲43%	2.8%
アジア	29,457	+16%	2,459	+60%	8.3%	8,150	+26%	644	+37%	7.9%
その他	4,063	+3%	116	▲39%	2.9%	1,117	+17%	21	+183%	1.9%
連結計	53,743	+16%	4,656	+33%	8.7%	15,268	+24%	1,189	+42%	7.8%

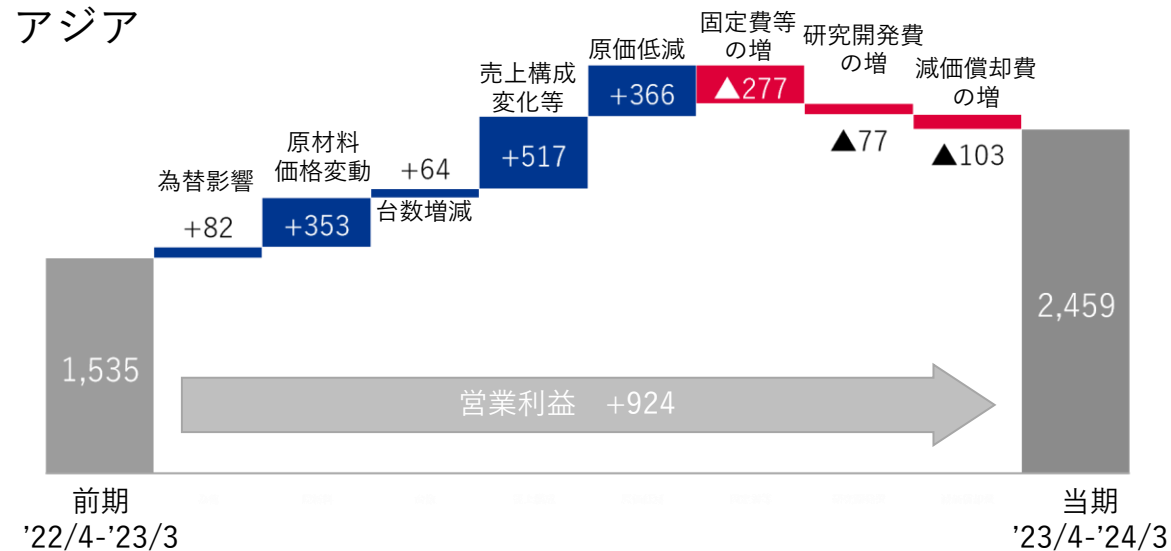
## 日本



## 欧州



## アジア



(億円)	当 期 ( '23/4-'24/3)	前 期 ( '22/4-'23/3)	增 減		補 足
				増減率	
売上高	26,048	22,172	+ 3,877	+ 17.5%	2期連続増収、過去最高
国内	10,788	9,681	+ 1,106	+ 11.4%	
輸出	15,261	12,490	+ 2,771	+ 22.2%	
一般	8,673	7,341	+ 1,333	+ 18.2%	
三国間	6,587	5,150	+ 1,438	+ 27.9%	
営業利益 (利益率)	2,040 (7.8%)	1,277 (5.8%)	+ 762	+ 59.7%	3期連続増益、過去最高
経常利益 (利益率)	2,572 (9.9%)	1,698 (7.7%)	+ 874	+ 51.5%	3期連続増益、過去最高
当期純利益 (利益率)	2,031 (7.8%)	1,453 (6.6%)	+ 578	+ 39.8%	5期連続増益、過去最高

		ルピー建 (億ルピー) ※1			円換算額 (億円)		
		当期	前期※4	増減	当期	前期	増減
連 結 業 績	売上高	13,492	11,249	+ 2,243	23,746	19,124	+ 4,622
	営業利益※2 (利益率)	1,327 (9.8%)	825 (7.3%)	+ 502	2,336 (9.8%)	1,402 (7.3%)	+ 933
	税前利益 (利益率)	1,742 (12.9%)	1,044 (9.3%)	+ 699	3,067 (12.9%)	1,774 (9.3%)	+ 1,292
	税後利益 (利益率)	1,349 (10.0%)	826 (7.3%)	+ 522	2,374 (10.0%)	1,405 (7.3%)	+ 969
	為替レート	1.76円	1.70円	+ 0.06円			
卸 販 売	国内販売※3	1,852千台	1,707千台	+ 145千台			
	輸出※3	283千台	259千台	+ 24千台			
	合計	2,135千台	1,966千台	+ 169千台			

※1 ルピー建は、4月26日付でマルチ・スズキ・インドア社が発表した連結業績値

※2 営業利益は次式により算出 営業利益 = Sales of product + Other operating revenues - Total Expenses + Finance costs

※3 国内販売および輸出はOEMを含む

※4 前年同期の業績値は、当期との比較のため、前期期初よりSMGを連結した前提で再計算した数値

注. マルチ・スズキ・インドア社はIndAS (インド版IFRS) に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値

## 北米の販売状況

### ■ 末端販売の状況

全体市場について

- ・ 小型・中型モデルは、金利上昇による中間層の購買意欲低下に伴い前年割れ
- ・ 大型モデルは、景気に左右されにくく、前年並で推移

全体市場は若干縮小するなか、スズキは堅調な販売を継続

### ■ 卸販売の状況

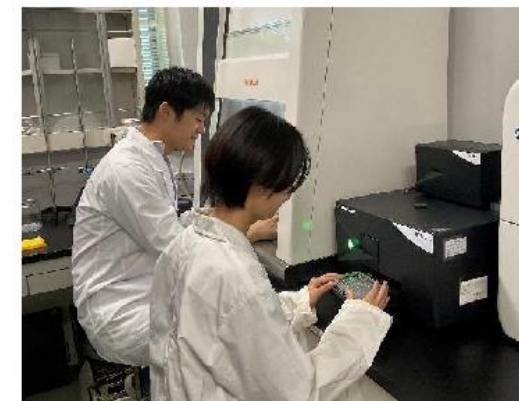
- ・ ボートビルダー・販売店で在庫調整を実施
- ・ 全体市場、スズキともに卸販売は縮小

## スズキ クリーンオーシャンプロジェクト



### マイクロプラスチック回収

静岡大学とタンパク質のプラスチック吸着特性を活かしたマイクロプラスチックの判別技術に関する共同研究契約を締結



### 梱包脱プラ活動

2020年からの累計削減量61トン



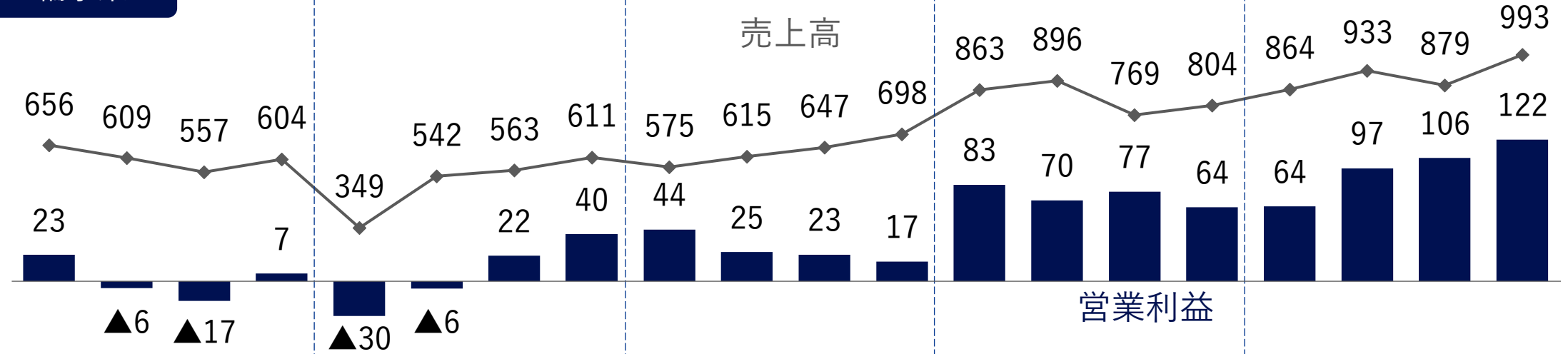
### 世界清掃活動

2010年からの累計参加者約17,000人

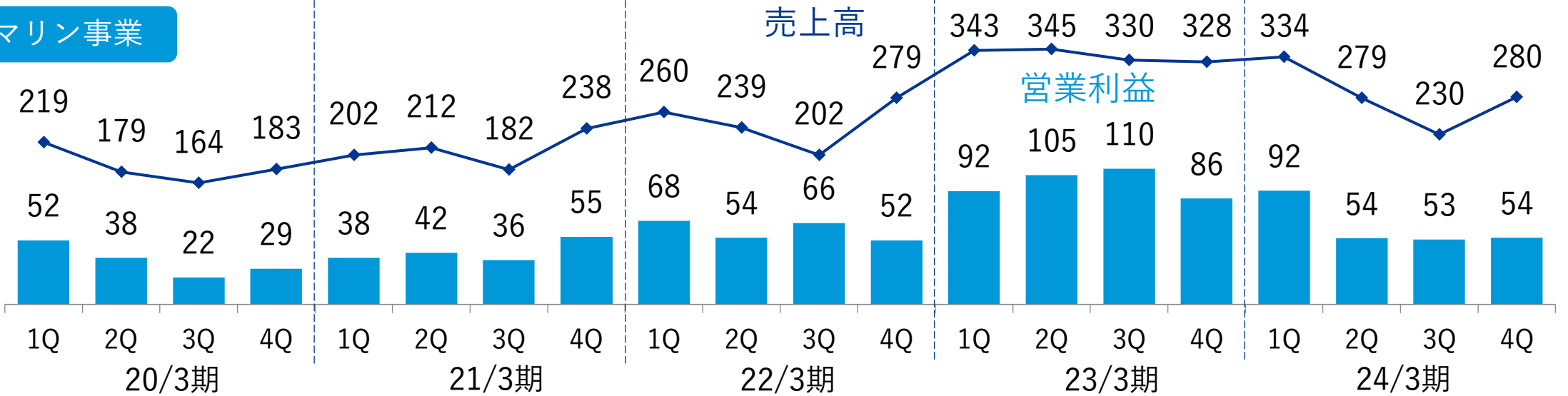


(億円)

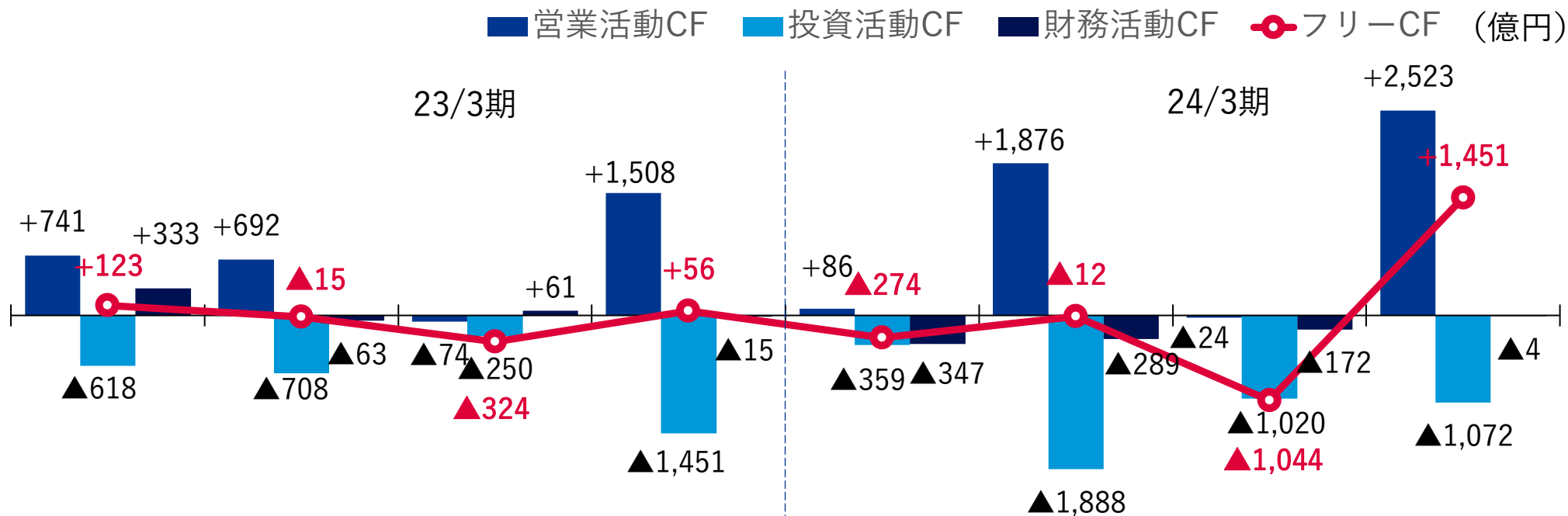
二輪事業



マリン事業



# 2024年3月期決算 | 連結キャッシュフロー四半期推移



	23/3期				24/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
フリーCF	+123	▲15	▲324	+56	▲274	▲12	▲1,044	+1,451
財務CF	+333	▲63	+61	▲15	▲347	▲289	▲172	▲4
(内、配当金支払額 <sup>※1</sup> )	(▲225)	(▲136)	(▲243)	(+2)	(▲245)	(▲203)	(▲268)	(▲2)
キャッシュ残高	9,215	9,171	8,740	8,821	8,499	8,230	6,886	8,536
有利子負債	7,331	7,441	7,542	7,638	7,640	7,672	7,790	7,862
ネットキャッシュ	1,884	1,730	1,198	1,183	859	558	▲904	675
(月商比 <sup>※2</sup> )	(0.5ヵ月)	(0.4ヵ月)	(0.3ヵ月)	(0.3ヵ月)	(0.2ヵ月)	(0.1ヵ月)	(▲0.2ヵ月)	(0.2ヵ月)

※1 非支配株主への配当金の支払額を含む。 ※2 月商比は、各期の通期売上高の平均月商をもとに算出

	当期 ('23/4-'24/3)	前期 ('22/4-'23/3)	増減
設備投資	3,215億円	2,699億円	+ 517億円
当社単独	621億円	691億円	▲69億円
子会社	2,594億円	2,008億円	+ 586億円
(内、インド※)	(1,965億円)	(1,523億円)	(+442億円)
減価償却費	1,972億円	1,773億円	+ 199億円
研究開発費	2,342億円	2,056億円	+ 286億円

※インド：マルチ・スズキ社（グジャラートを含む）、SMIPL社、TDSG社、SRDI社、Sデジタル 5社の合計

	当期末 ('24/3末)	前期末	
		('23/3末)	増減
有利子負債残高	7,862億円	7,638億円	+223億円
連結子会社数	119社	120社	▲1社
持分法適用関連会社数	31社	32社	▲1社
従業員数	72,372人	70,012人	+2,360人



	当期 ('23/4-'24/3)	前期 ('22/4-'23/3)	前期比 増減		営業利益 為替影響	
					感応度 <sup>※2</sup>	影響額
ユーロ	157円	141円	+16円	+11.2%	+27億円	+302億円
メキシコペソ	8.35円	6.91円	+1.44円	+20.8%	+9億円	+178億円
インドルピー	1.76円	1.70円	+0.06円	+3.5%	+38億円	+136億円
ポンド	182円	163円	+19円	+11.3%	+9億円	+101億円
米ドル	145円	136円	+9円	+6.7%	+13億円	+86億円
南アフリカランド	7.72円	7.99円	▲0.27円	▲3.4%	+6億円	▲19億円
パキスタンルピー	0.51円	0.61円	▲0.10円	▲16.4%	+3億円	▲43億円
その他 <sup>※1</sup>	—	—	—	—	+13億円	+87億円
営業利益為替影響額 合計					+118億円	+828億円

※1 その他…影響額+87億円のうち、ポーランドズロチ+37億円、オーストラリアドル+13億円 ほか

※2 感応度…各通貨のレートが前年同期のレートから1%円安方向に動いた際の営業利益影響額

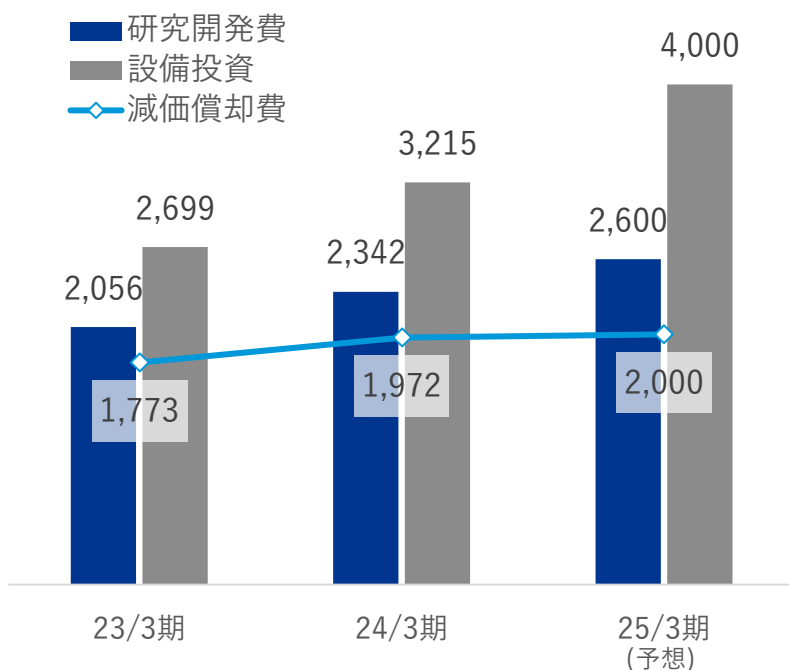
# 通期業績予想 | 設備投資・減価償却費・研究開発費・為替レート

## 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	次期予想		当期比較	
	IFRS	日本基準	当期実績	増減
設備投資	4,000		3,215	+785
減価償却費	2,000	2,075	1,972	+103
研究開発費	2,600	2,600	2,342	+258

## 為替レート

	次期予想	当期実績	当期実績比			
			増減		営業利益	為替影響
			増減	増減率	感応度 <sup>※2</sup>	影響額
メキシコペソ	8.55円	8.35円	+0.20円	+2.4%	+9億円	+22億円
コロンビアペソ	0.037円	0.036円	+0.001円	+3.4%	+2億円	+8億円
ポンド	184円	182円	+2円	+1.3%	+5億円	+6億円
ドル	145円	145円	+0円	+0.3%	+14億円	+4億円
ユーロ	157円	157円	+0円	+0.2%	+22億円	+3億円
インドネシアルピア	0.0092円	0.0095円	▲0.0003円	▲3.2%	+3億円	▲10億円
インドルピー	1.75円	1.76円	▲0.01円	▲0.6%	+38億円	▲22億円
その他 <sup>※1</sup>	—	—	—	—	+22億円	▲13億円
営業利益為替影響額 合計					+115億円	±0億円

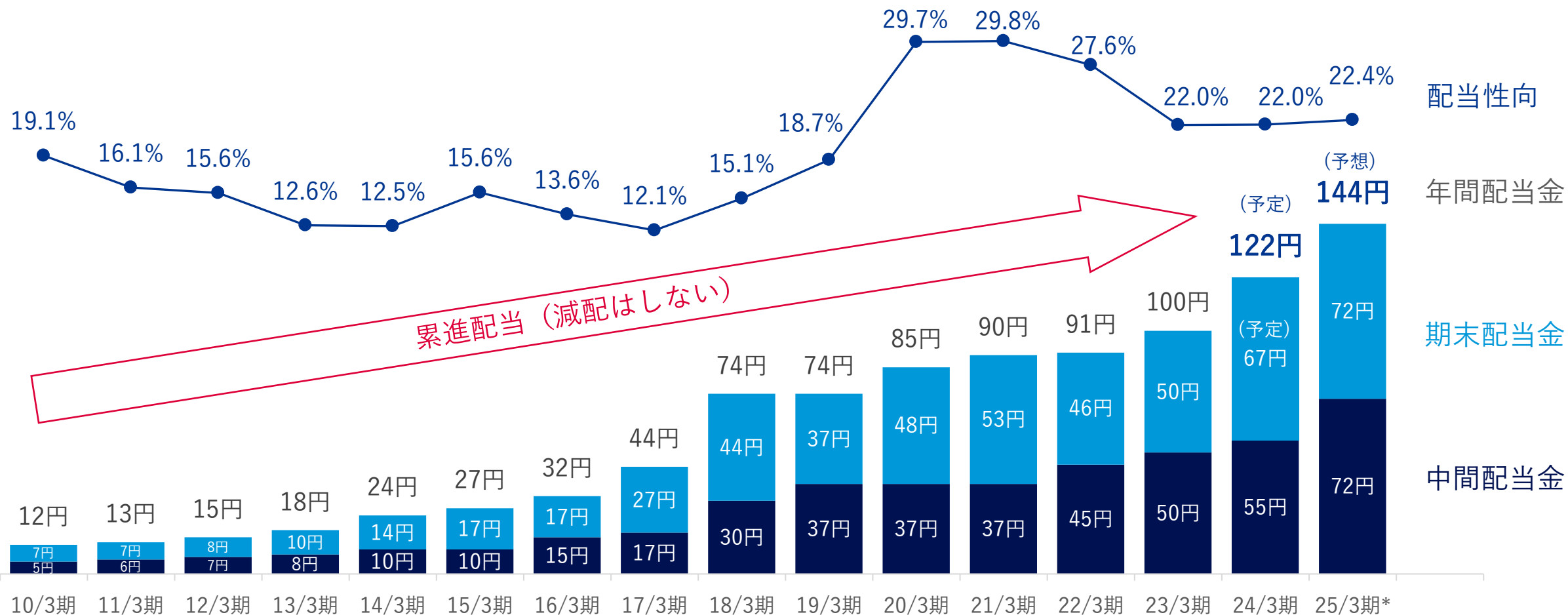


※1 その他…影響額▲13億円のうち、タイバーツ▲2億円 ほか

※2 感応度…各通貨のレートが当期実績から 1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

# 株主還元 | 一株当たり配当金

配当金 **年間配当金(予定) 122円** (前期比22円増配) : 過去最高額  
 自己株式 当上期に、200億円 (3,768千株) を取得 (還元性向7.5%相当)



\* 25/3期の配当性向はIFRS基準で算出、配当額分割前ベースを表示

## IFRS適用に伴う主な変更点

- ・スズキは2025年3月期第1四半期決算より、IFRSを適用いたします。
- ・以下は、現時点にて想定される主な影響を説明するものであり、当該情報は確定前の情報であるため、後日公表する内容と異なる可能性がございます。

項目	日本基準	IFRS	内容
有形固定資産の償却方法	定率償却	定額償却	移行日時点で保有する資産について、取得時まで遡って変更を遡及適用
研究開発費、ソフトウェア取得費の資産化	発生時に費用計上	資産計上後に償却	機種開発分やソフトウェア取得費が対象
一部の金融商品の評価差額	売却時に一括で損益計上	四半期ごとに損益計上	マルチスズキ保有の投資信託の評価差額



SUZUKI  
2024 スズキグループ入社式





### 将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。